

授業科目 人間と生活の科学

【担当教員名】 澤井 セイ子		対象学年	1	対象学科	健康
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
【概要・一般目標：G10】 日常生活に関する研究の視点をふまえて、身近な日常生活、特に私生活領域において展開される家族・個人の日常生活の様態の特質を明らかにする。私生活領域における生活主体と生活資源との関係性を投影する日常生活様態の変遷について構造的に把握する。さらに、現代の日常生活の営みのあり方について考える。					
【学習目標・行動目標：SB0】 身近な日常生活の営み、特に自由裁量しうる私生活領域を中核とする生活の営みについて、具体的に、多面的・分析的に、時空間的に、理解する。現代の身近な日常生活の営みのあり方について、主体的・分析的、かつ統合的に考える。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				
2	生活研究の視点（１）・・・自らの生活のイメージを明らかにする				実習
3	生活研究の視点（２）・・・アメリカのホームエコノミックスの発生環境から生活研究の視点を明らかにする				講義
4	生活構造（１）・・・生活の原初的な構造から生活活動を考察する				講義
5	生活構造（２）・・・生活の営みにおける要因と活動から生活の枠組みを理解する				講義
6	生活主体としての家族（１）・・・生活共同体としての家族を考察する				演習
7	生活主体としての家族（２）・・・家族の生活の営みの特質を理解する				演習
8	生活主体としての個人（１）・・・個人の生活の営みを理解する				演習
9	生活主体としての個人（２）・・・個人の生活の営みへの支援について考察する				演習
10	生活資源（１）・・・生活資源の概念を理解する				講義
11	生活資源（２）・・・現代における生活資源を考察する				討議
12	生活様態の変容（１）・・・生活構造の視点から生活の営みの移り変わりを把握する				演習
13	生活様態の変容（２）・・・消費生活活動の移り変わりを把握する				演習
14	日常生活の営み・・・現代の生活の営みの特徴を理解する				討議
15	まとめ				
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他>			
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		介護福祉士選書9 新版家政学概論Ⅰ 家政・生活編		建帛社	
その他の資料		教室内にて、資料を配布する			
【評価方法】 レポート コミュニケーション・ペーパー 出席		【履修上の留意点】 1. 「日常生活の営みとは、どのようなことか」「“生活者”とは、誰なのか」などについて、具体的に考えながら、積極的に受講してください。 2. 自らの生活体験を客観的直視して、生活のびと並みの多様性について、時空間的に考えてください。			